

レースの方法について

1. スタートについて

- スタートは、管理橋から垂らしたロープをクルー（2名のクルーの内、どちらか）が握った状態で行います。（ロープの間隔は、スタート直後の接触を避けるため、第16回大会までよりも広くします。）
- ★ スタート時に握るロープは、ヘルメットに合わせて色分けした布が結び付けてあります。ヘルメットと同じ色の布が付いたロープを握ってください。
- ヘルメットの色は、レース当日にくじ引きによって決められます。

2. コースについて

2.1 準決勝レースまでのコース

- 予選レース、敗者復活レース、および準決勝レースのコースは、管理橋をスタート地点とし、ここから300m離れた位置にある2つのブイをゴール地点とした直線コースです。
- ゴールは、2つのブイを結ぶ直線を、水面上に見える艇の先端（艇の前部が水没している場合はクルー）が通過した時点とします。通過する場所は、2つのブイの内側／外側のどちらでも構いません。

2.2 決勝レースのコース

- ★ 決勝レースのみ、400mの折り返しコースでレースを行います。
- ★ 折り返し点は、スタート地点から200m離れた位置に設置したブイとします。
- ★ 折り返しの方法は、2つのブイの内側から外側に廻ることとします。外側から内側に廻った場合は、折り返しを無効とします。この場合、内側から外側に廻れるまで、繰返ストライして構いません。
- ★ 折り返し時や、往路／復路の交差において、明確な進路妨害があった場合は審議を行い、進路妨害を行った艇を除いて再レースを行うなどの措置をとります。往路／復路が交差しそうなときは、先行している復路の艇を優先し、往路の艇がコースの内側に避けてください。進路妨害がないよう、決勝出場チーム各クルーの操船能力に期待しています。
- ★ ゴールは、スタート地点の管理橋とします。管理橋の橋脚のコース側端部を結んだ直線上を、水面上に見える艇の先端が通過した時点とします。通過する場所は、どの橋脚の間でも構いません。
- レースに応じて艇本体の変更や、部材の取付け／取外しを行うことは認めません。ただし、パドルを変更することは可能とします。

※決勝レースのコースを変更した理由

決勝レースのタイムが1分台になり、上位艇の差がほとんど無くなったため。

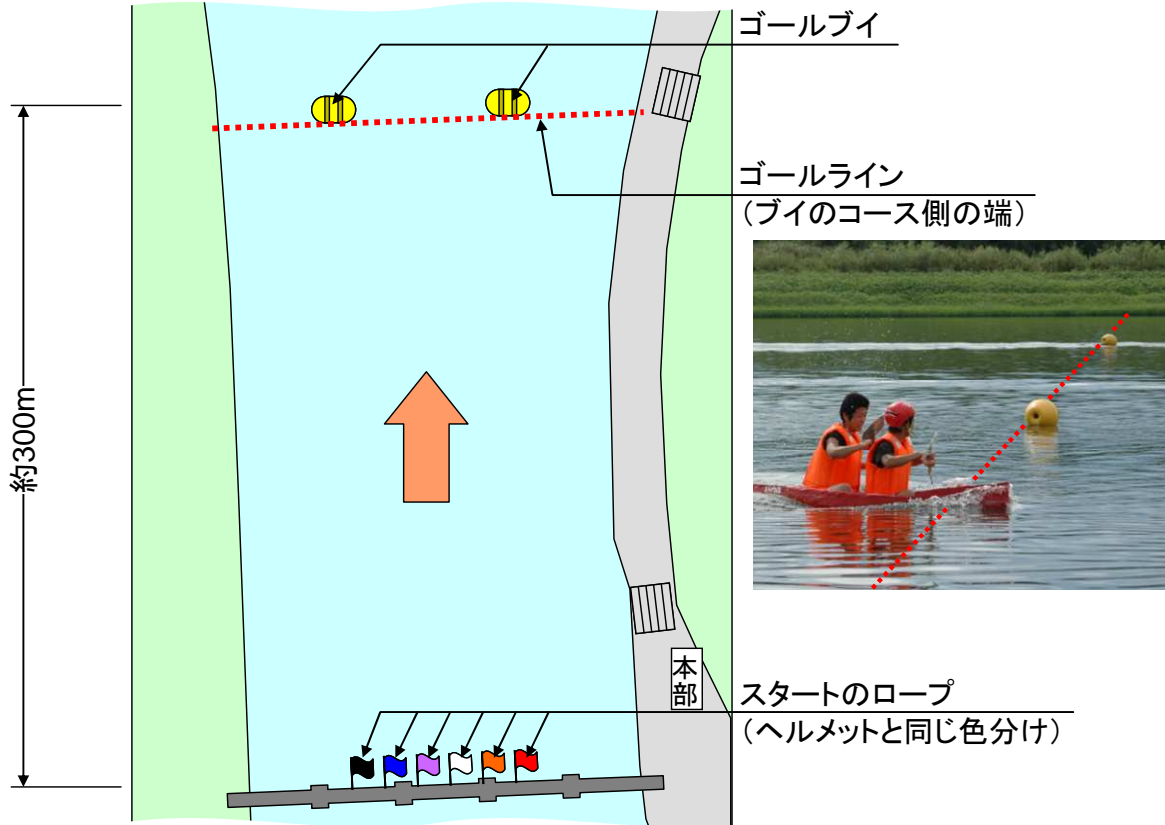
これまでは艇の直進性が高いほど有利であり、参加する艇の形状が画一化されつつあるため。

折り返しの操船を加えることで、艇やパドルに、これまでとは違った工夫を考えていただくため。

大会の盛り上がりを考えると、観客が多いスタート地点でゴールを迎えたいため。

【凡例】 ★：第16回大会（前回）までとは異なる事項。 ○：これまでの大会と同じ事項。

【予選・敗者復活戦・準決勝レース】



【決勝レース】

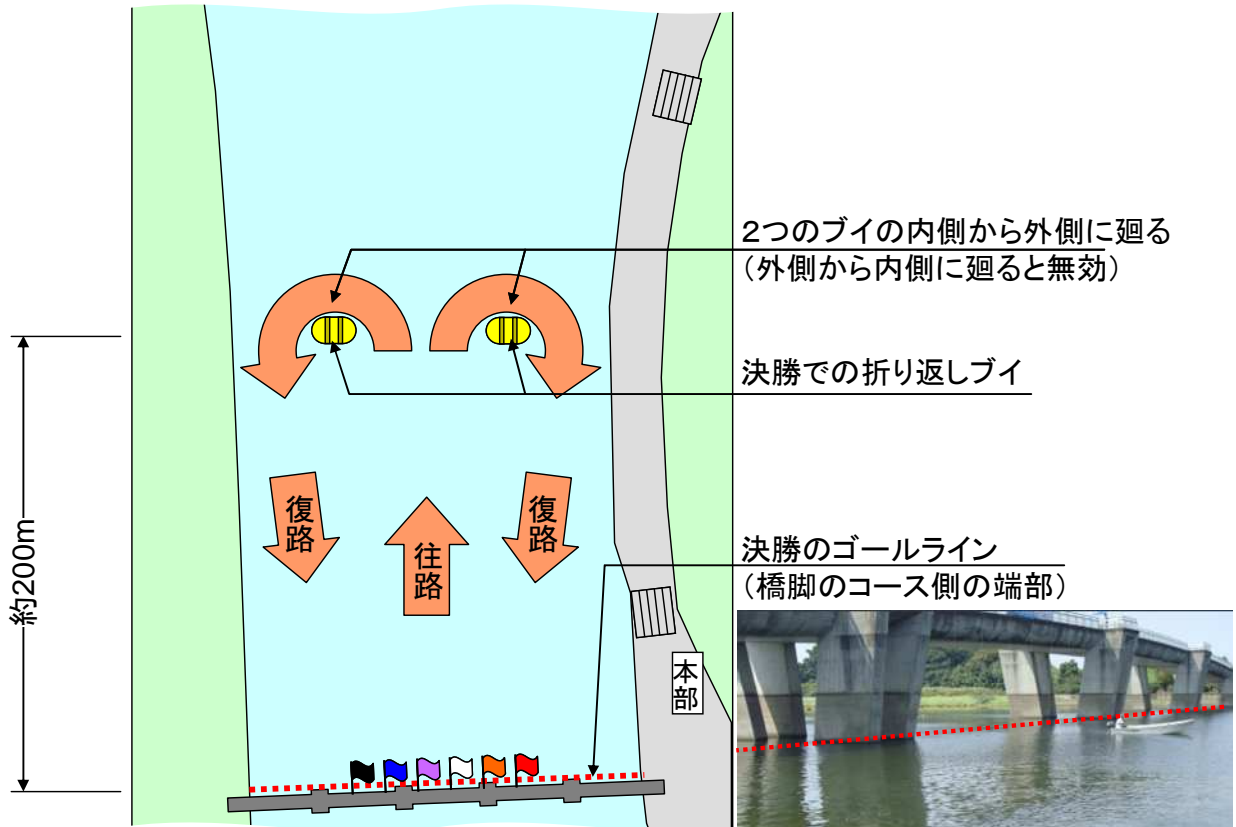


図-1 レースのコース